MS316-42004
GR スポーツサイドバイザー

取付・取扱要領書

この度はGR スポーツサイドバイザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本書には上記商品の取り付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は登録後架装を前提としています。

■品番・適合一覧表

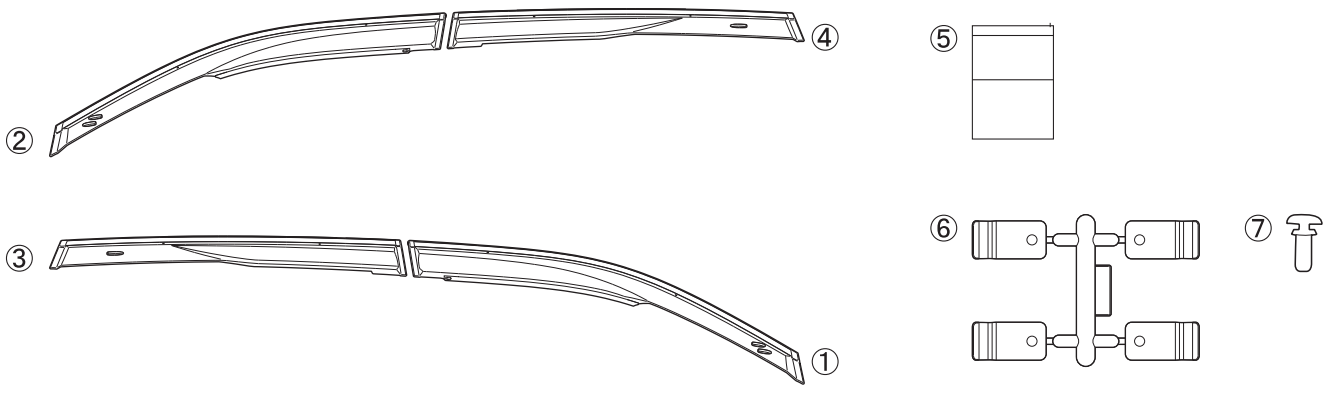
品　番	適合車種	備考
MS316－42004	RAV4	

・本製品とIRカットフィルムを同時装着する場合はIRカットフィルムを先に装着してください。

■構成部品

No.	部　品　名	個数	備　考
①	フロントバイザーRH	1	
②	フロントバイザーLH	1	
③	リヤバイザーRH	1	
④	リヤバイザーLH	1	
⑤	PACプライマー	1	N210NT
⑥	ブラケット	8	
⑦	ブラケットピン	8	

■構成部品図



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用して下さい。上記指定以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■保証について

本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。
（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<https://www.trdparts.jp/>
「保証について」をご覧ください。

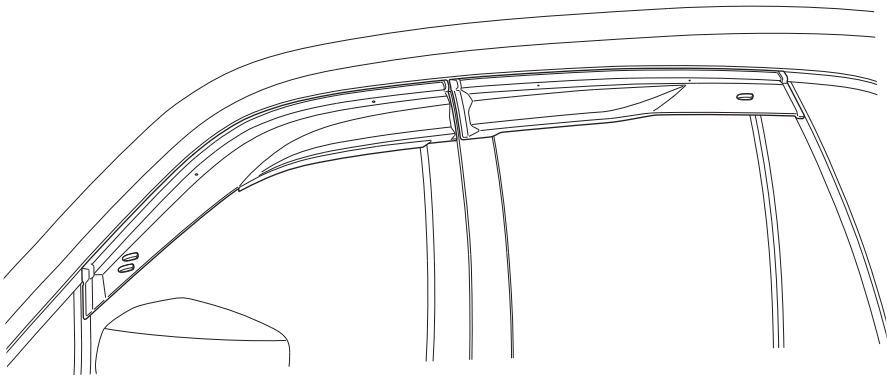
■目次

1. 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 取付上のご注意（取付作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図、製品における注意点 ・ 3
4. 取付準備・取付要領 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～11
5. 取り付け完了後の点検・注意事項、取扱上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・ 12

■取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

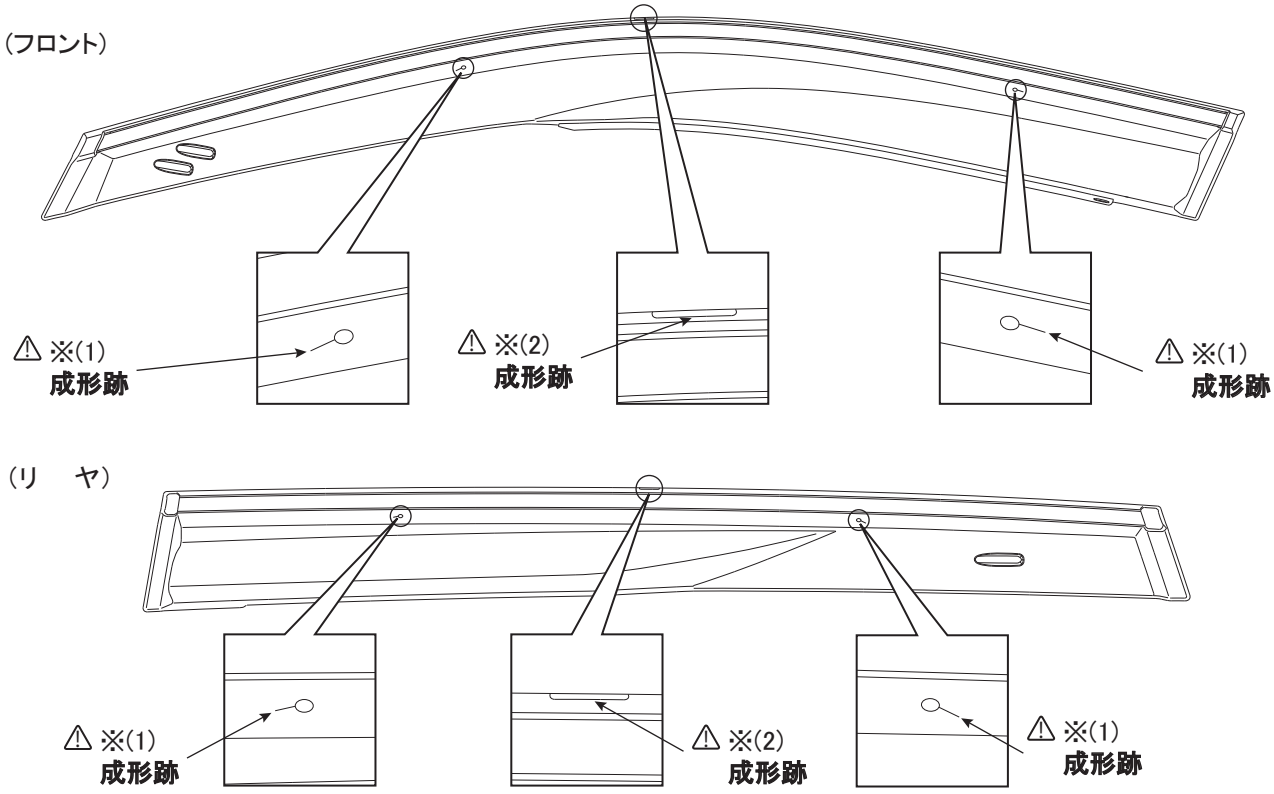
・ニッパー・マスキングテープ・清潔なウエス
・イソプロピルアルコール(IPA)・養生テープ

■取付構成図



※イラストはLH側を表しています

■製品における注意点



※(1) 丸の示す位置にあるラインは成形跡なので、 製品上問題ありません。

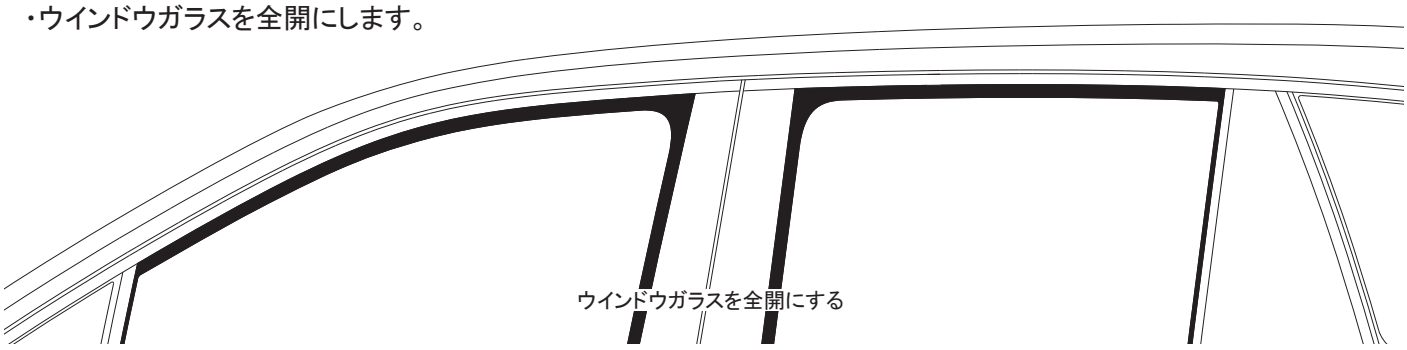
※(2) 丸の示す位置にある模様は成形跡なので、 製品上問題ありません。

本説明はLH側を示しています。RH側も同様に取り付けてください。

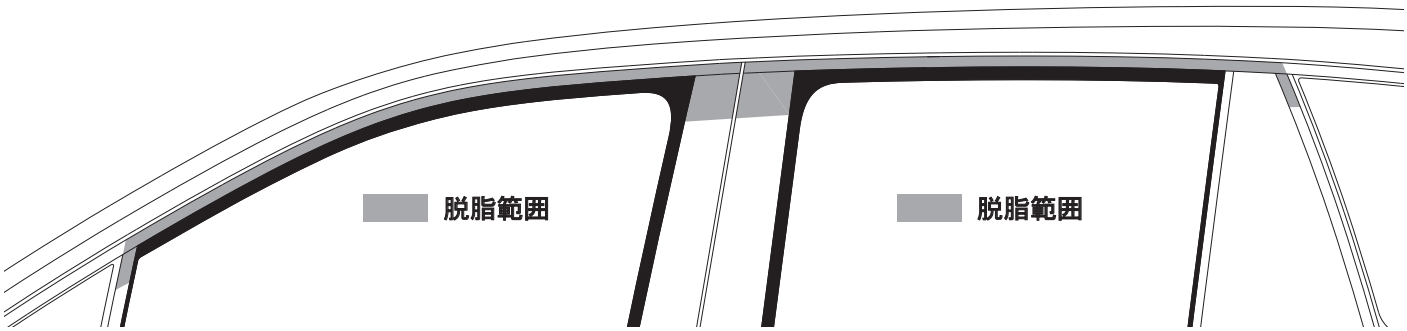
■取付準備、取付要領
□取付準備

1. 車両の脱脂

・ウインドウガラスを全開にします。



・バイザー貼り付け面の汚れ等をウエスで確実に除去し、脱脂処理を行います。

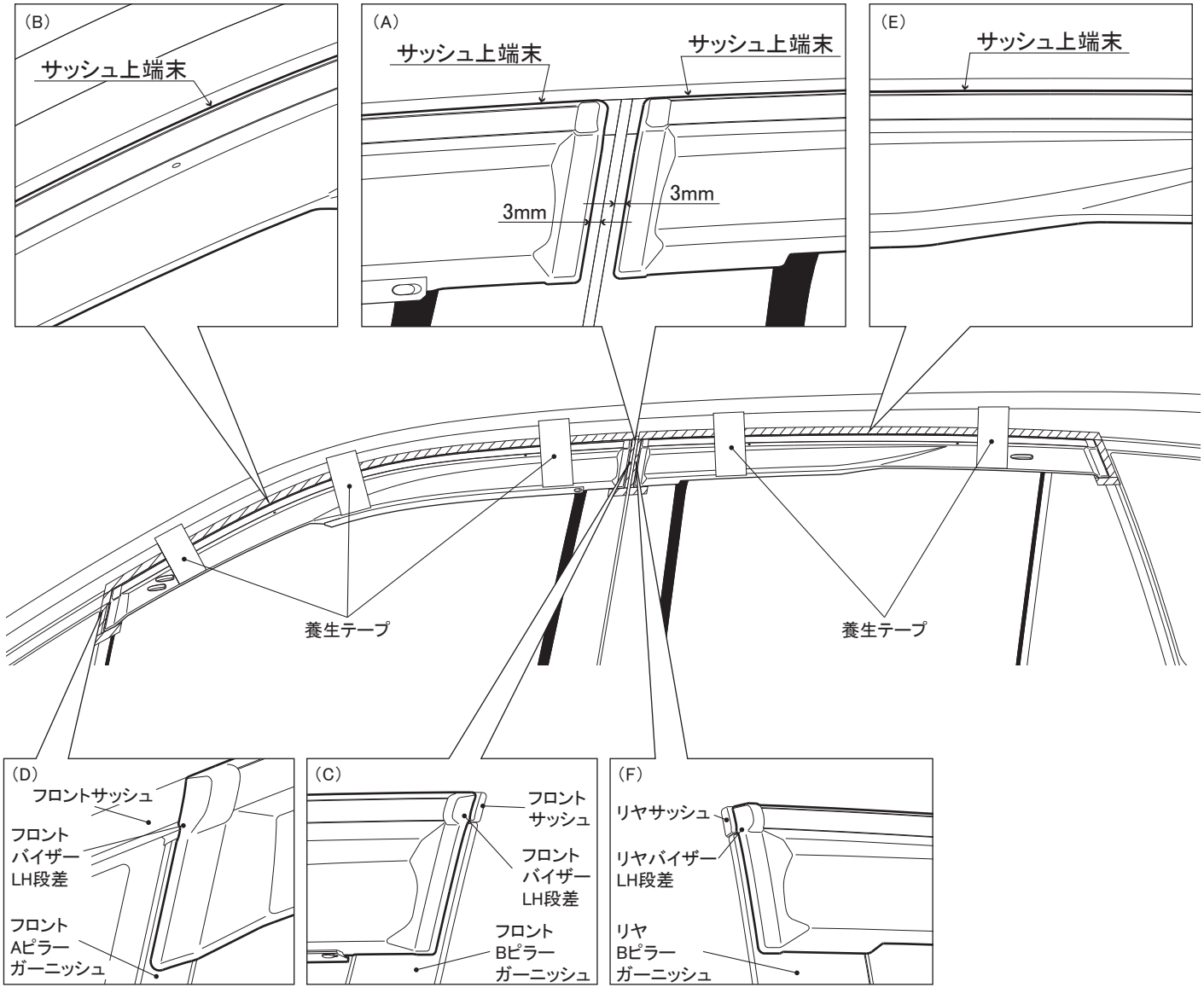


⚠注意：脱脂を確実に行わないと、浮き、剥がれ、脱落の原因となります。

2.サイドバイザーの仮付け

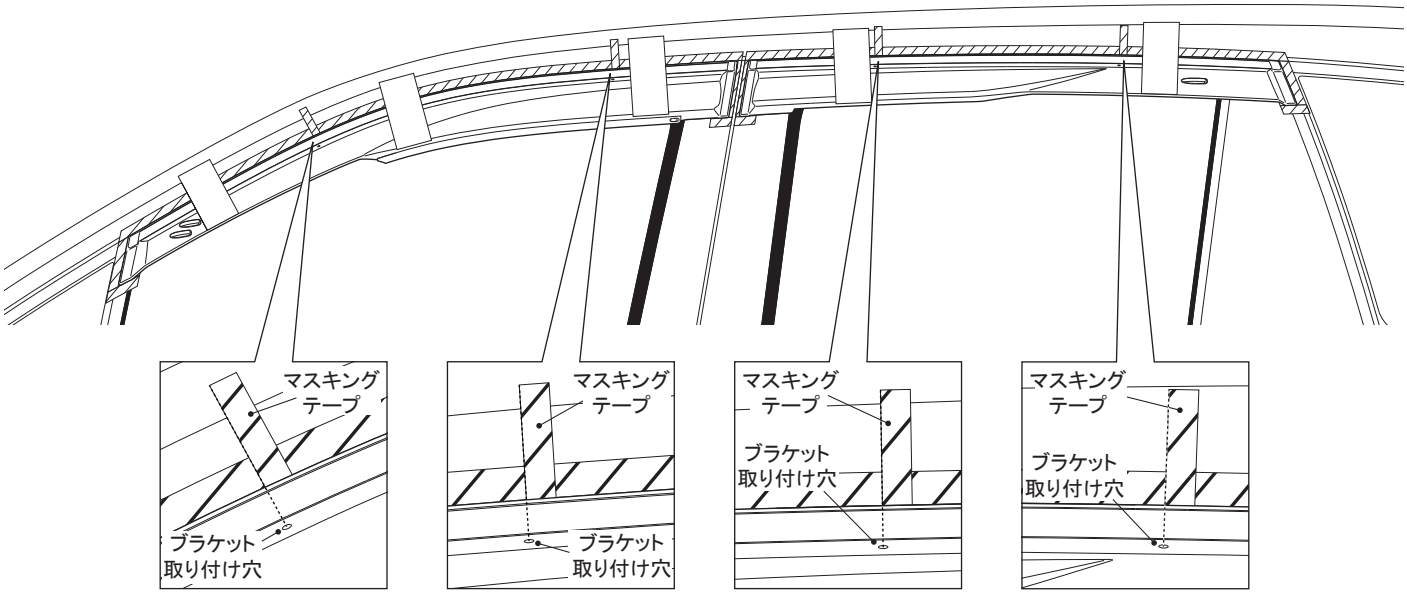
・フロントバイザーLH（構成部品②）は、下図(A)、(B)を参考に後端をフロントBピラーガーニッシュ端部から3mm内側に合わせ、上端をサッシュ上端末に合わせます。
・下図(C)の示すフロントサッシュとフロントBピラーガーニッシュにフロントバイザーLHの段差が干渉・乗り上げがないように確認し、下図(D)の示すフロントサッシュとフロントAピラーガーニッシュにフロントバイザーLHの段差が干渉・乗り上げがないように確認します。
・フロントバイザーLHを養生テープで仮固定します。
・フロントバイザーLHの外周をマスキングします。

・リヤバイザーLH（構成部品④）は、下図(A)、(E)を参考に前端をリヤBピラーガーニッシュ端部から3mm内側に合わせ、上端をサッシュ上端末に合わせます。
・下図(F)の示すリヤサッシュとリヤBピラーガーニッシュにリヤバイザーLHの段差が干渉・乗り上げがないように合わせます。
・リヤバイザーLHを養生テープで仮固定します。
・リヤバイザーLHの外周をマスキングします。



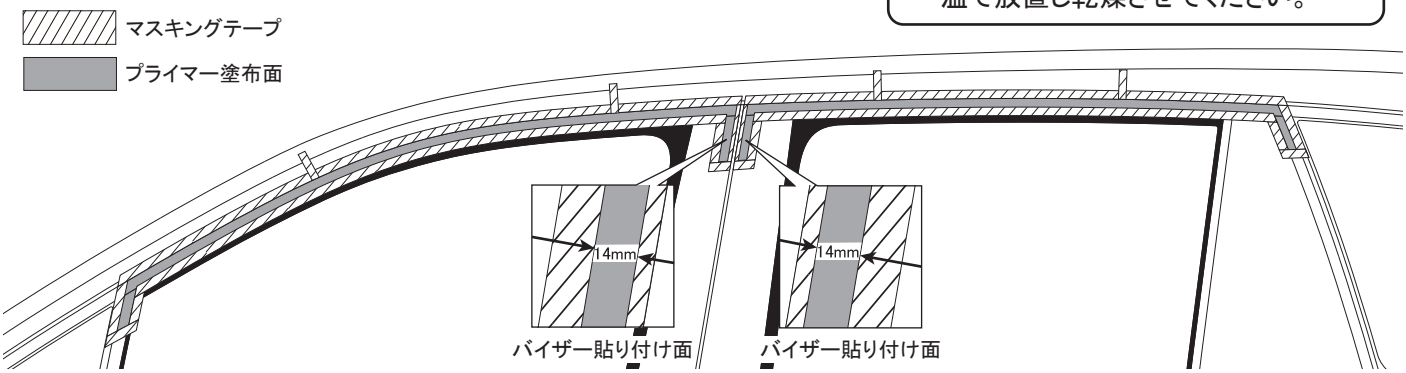
⚠注意：バイザー仮付けの際、ドアパネルをキズ付けないように注意してください。
マスキングは、プライマーのはみ出し防止の目的もありますので、必ず行ってください。

3.ブラケットの取り付け位置
・下図を参考に、ブラケット取り付け穴の中心にマスキングテープの左端の延長線上が来るように貼り付けます。



4.プライマーの塗布
・仮付けしたフロントバイザーLHを外します。
・下図を参考に、2.サイドバイザーの仮付け作業で貼り付けたマスキングテープから14mm内側にマスキングします。
・仮付けしたリヤバイザーLHを外します。
・下図を参考に、2.サイドバイザーの仮付け作業で貼り付けたマスキングテープから14mm内側にマスキングします。
・バイザー貼り付け面を再度、脱脂を行います。
・プライマー塗布面にプライマー（構成部品⑤）を塗布します。

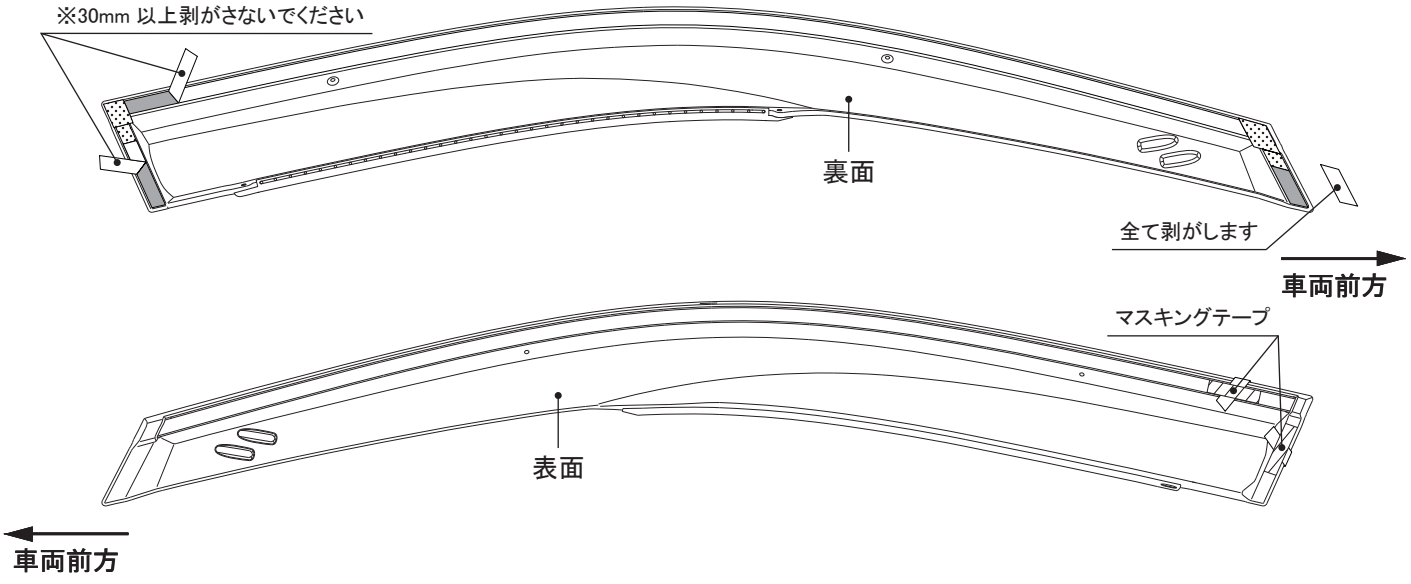
⚠注意
PACプライマーは特に白色塗装面を黄変させるため、マスキングをしてはみ出しを防止してください。はみ出した場合は、イソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。
PACプライマー塗布後、10分以上常温で放置し乾燥させてください。



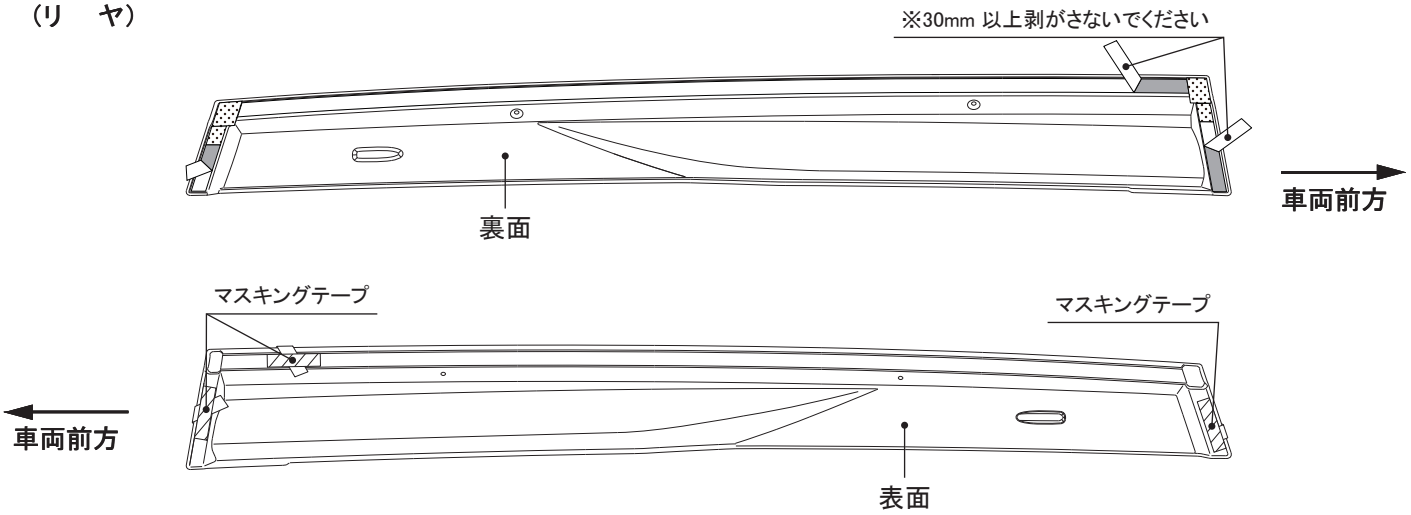
⚠注意：プライマー使用に際しては、3M PACプライマー取扱説明書に従い使用してください。
仮付けの際に両面テープの接着面にホコリ等が付着しないように注意してください。

5. サイドバイザー取り付け前準備
・フロントバイザーLH・リヤバイザーLH裏面の両面テープの離型紙を下図を参考に30mm程度剥がし、外側に折り曲げ、表面にマスキングテープで貼り付けます。

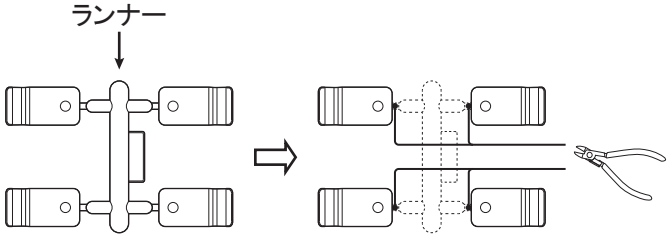
（フロント）



（リ　ヤ）



・ブラケット（構成部品⑥）をランナーからニッパーで切り離します。

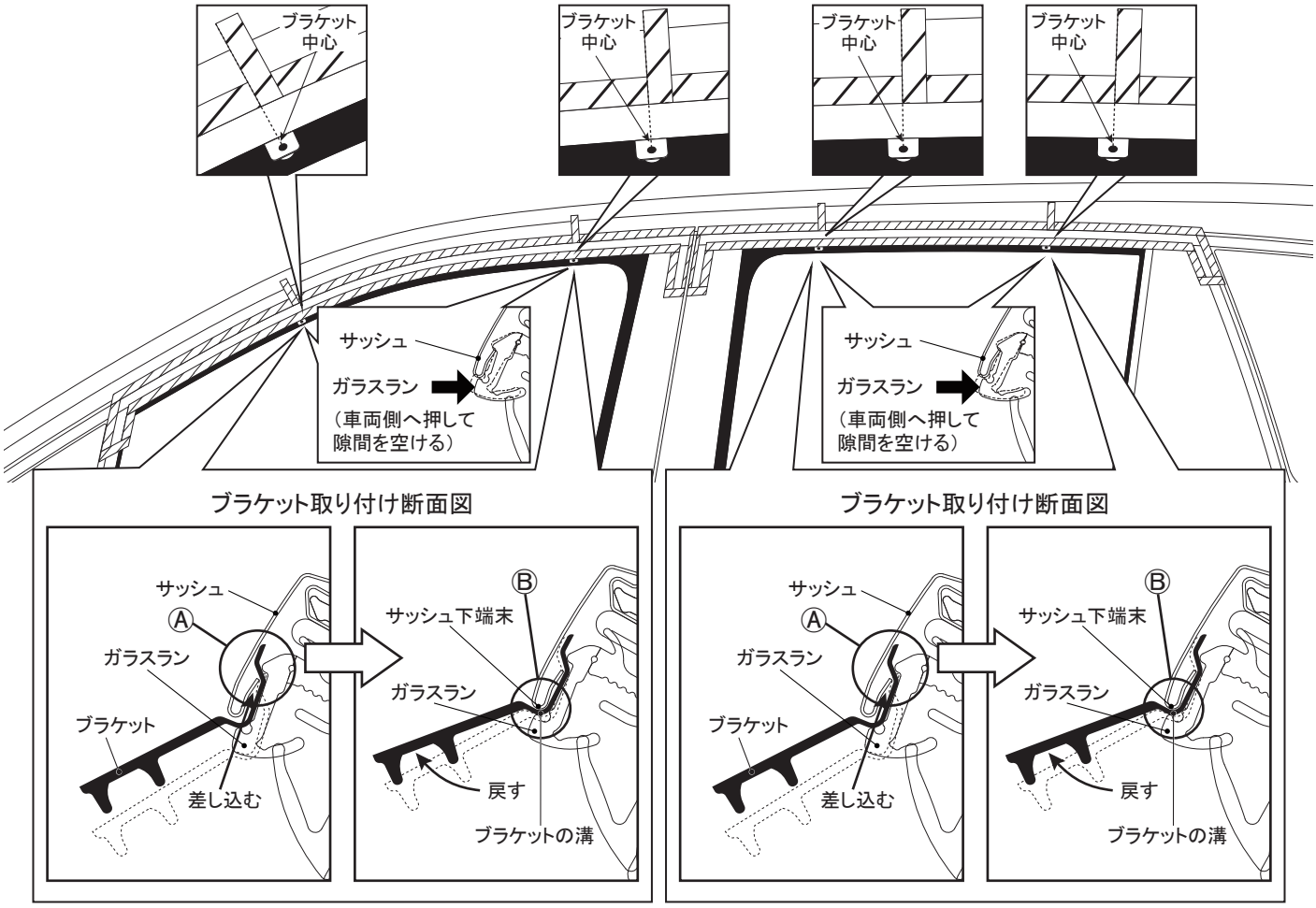


⚠注意：ブラケット切り離しの際、バリをきれいに処理してください。

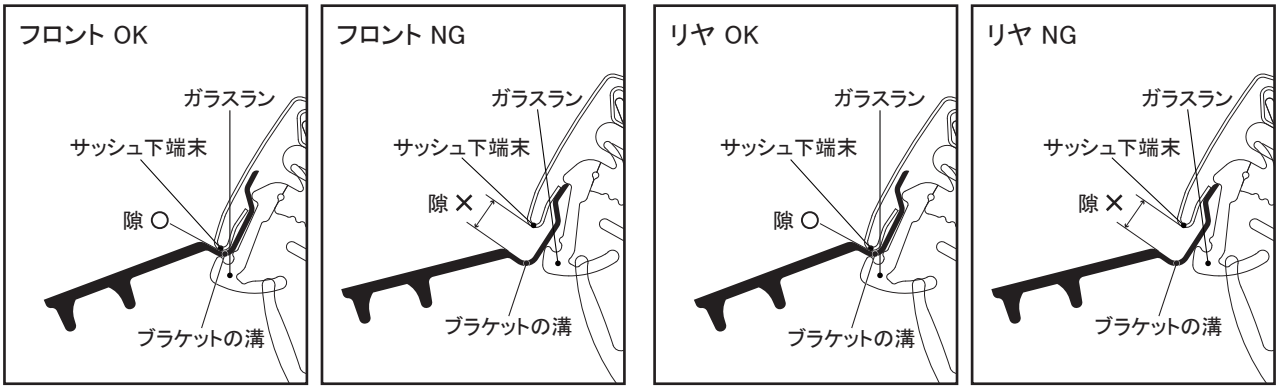
□取付要領

1. ブラケット取り付け

・下図を参考に取付準備3.ブラケットの取り付け位置で貼り付けたマスキングテープの左端の延長線上にブラケットの中心が来るように差し込みます。
・ガラスランを軽くめくり下図のⒶが示すブラケットの先端をサッシュとガラスランの間に潜りこませるように差し込みます。次に下図のⒷが示すブラケットの溝とサッシュ下端末が接するように取り付けます。
・ブラケット差し込み作業が困難な場合はガラスランを引き抜いて取り付けます。
・ガラスランをめくった際にめくれた癖がついてしまった場合は手で馴染ませてもとに戻します。
・3.ブラケットの取り付け位置で貼り付けたマスキングテープをすべて剥がします。

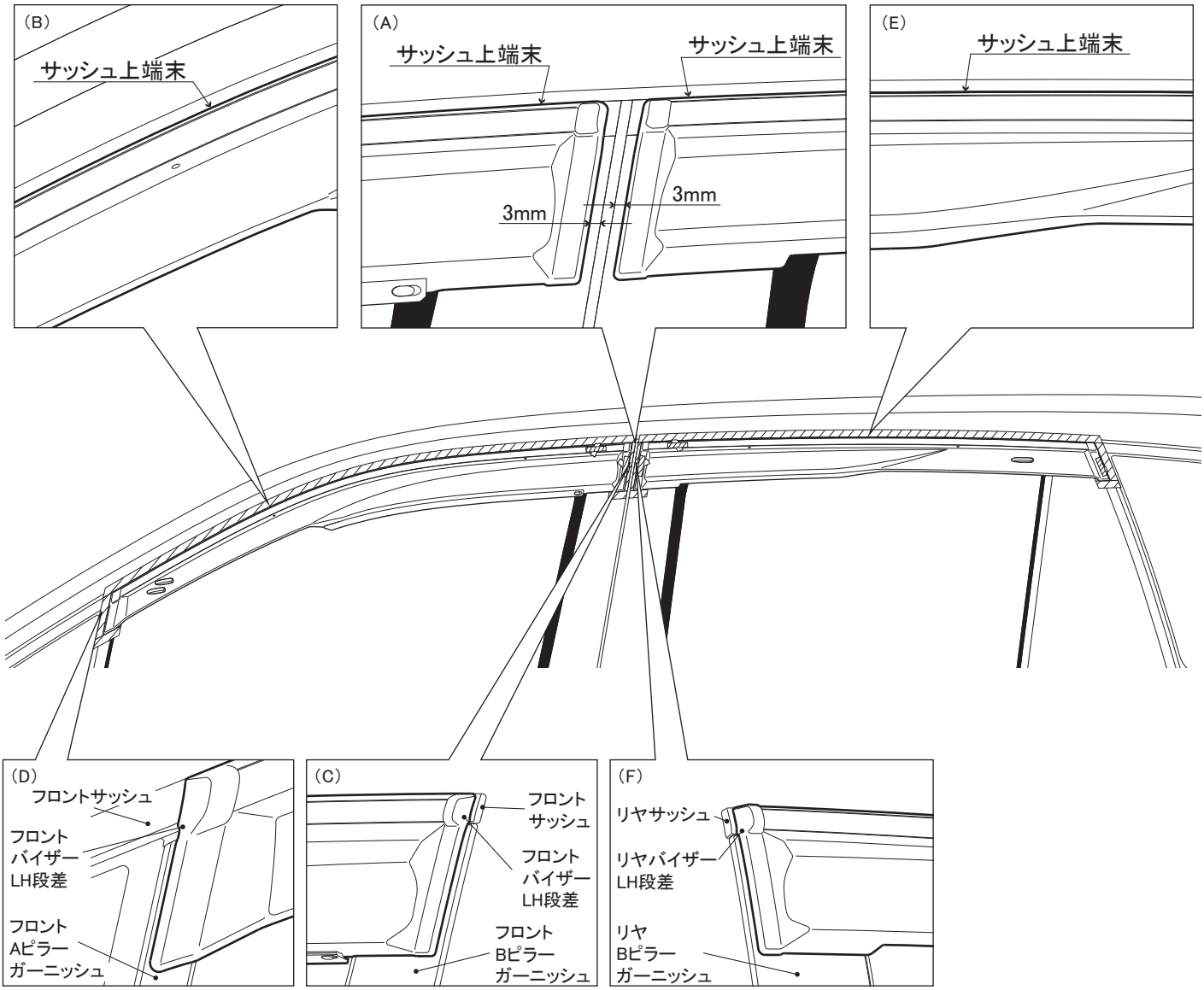


⚠注意：ブラケットが所定の位置まで差し込まれていない場合脱落の原因になります。



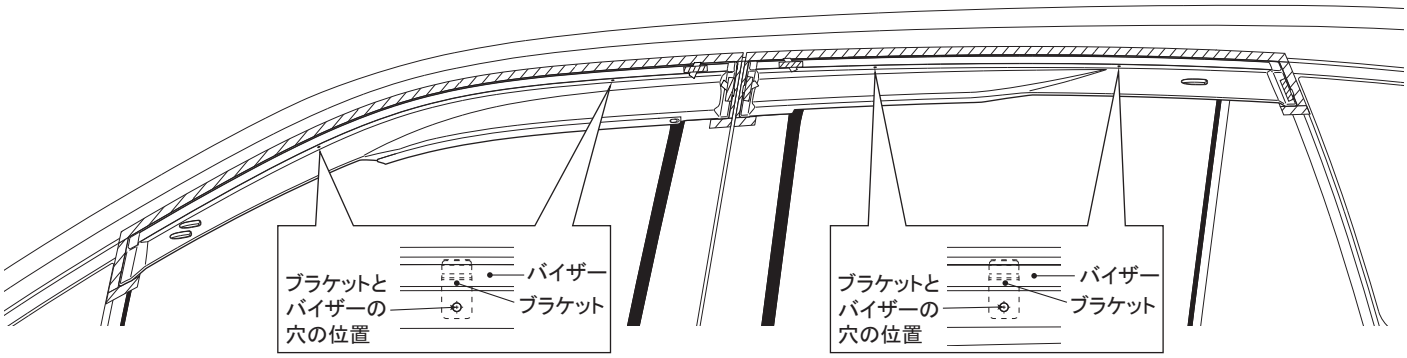
ブラケットを取り付ける際、ドアパネルにキズを付けないよう、十分にご注意ください。

2. サイドバイザー取り付け
・取付準備4.プライマーの塗布で14mm内側に貼ったマスキングテープのみ先に剥がします。
・取付準備2.サイドバイザーの仮付けの取り付け方法を参照し、バイザーの取り付け位置を再度確認し、フロントバイザーLH、リヤバイザーLHの順に取り付けます。



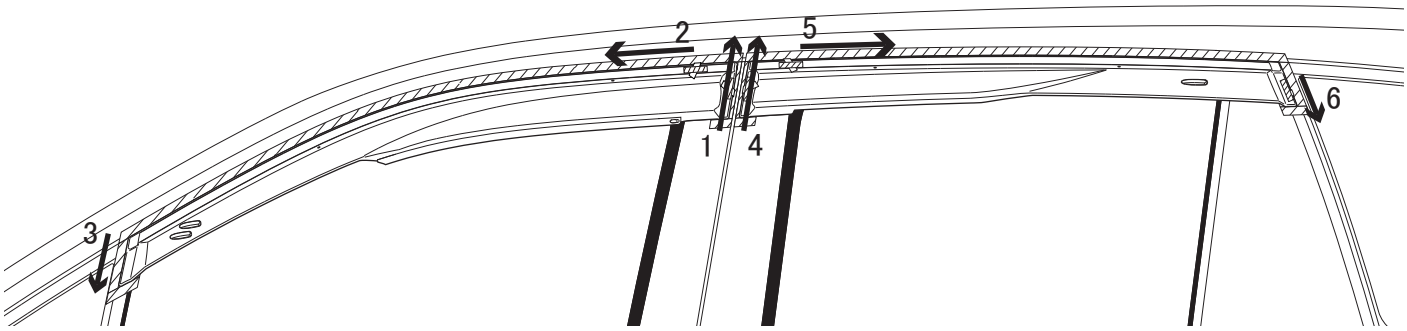
⚠注意：バイザー取り付けの際、ドアパネルをキズ付けないよう注意してください。

3. ブラケット位置確認
・バイザーからブラケットの穴が見えることを確認してください。



⚠注意：ブラケットピンは一度使用すると性能が著しく低下するため、ブラケット位置確認の際、ブラケットピンは挿入しないでください。

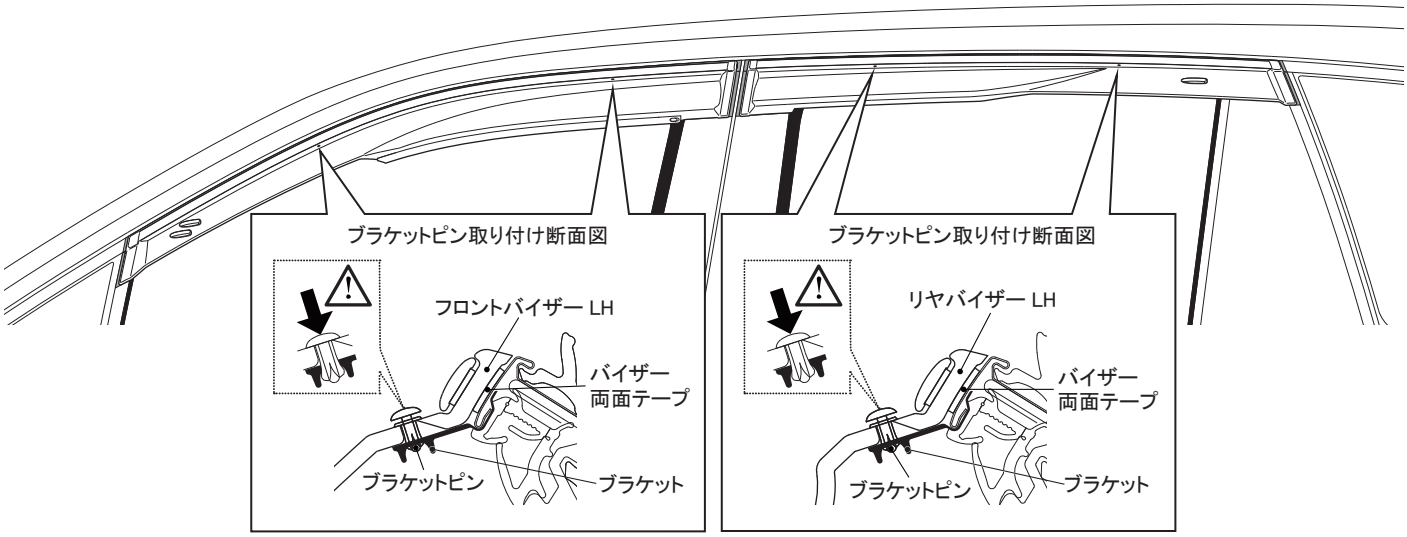
4. サイドバイザー接着
・バイザーの両面テープ離型紙を→の方向に1～6の順に丁寧に引き抜きながら49N（5kgf）以上で圧着します。
・マスキングテープをすべて剥がします。



アドバイス　両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、24時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

5. ブラケットピン取り付け
・下図を参考に、バイザーにブラケットピンを組み付けます。
・バイザー表面からブラケットピン（構成部品⑦）を挿入して固定します。
・ブラケットピンを固定した後にブラケットに、ゆるみ、ガタつきがないことを確認してください。



⚠注意：ブラケットピンを取り付ける際、ドアパネルにキズを付けないよう、十分にご注意ください。

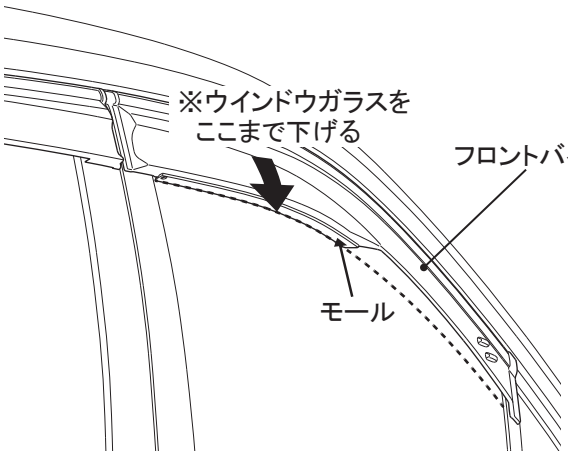
■取り付け完了後の点検・注意事項

1.作業終了後、各ドアのウインドウガラスをゆっくりと開閉し、バイザーに異常がないことを確認してください。
2.製品全周に渡り、浮き剥がれ等、無いことを確認してください。
3.車両及びバイザー周りに傷がついていないことを確認してください。

■取扱上の注意

1.バイザーが事故や接触等により、破損・変形した場合は、すぐに修理するか取り外してください。
　そのままの走行は、事故の原因になるおそれがあり、大変危険です。
2.バイザーが汚れた場合は、スポンジに水で薄めた中性洗剤をつけ、水洗いし水分をウエス等で
　拭き取ってください。溶剤、薬品等は、バイザーを痛めますので、絶対に使用しないでください。
3.定期的にブラケットのゆるみ、ガタ等を点検し、取り付け状態を確認してください。
4.ウインドウガラスの汚れを拭き取る際に、モールに強く触れますと剥れるおそれがありますので、ご注意ください。
　また、ガソリンスタンド等でも注意を促してください。

使用上のアドバイス



・フロントドアのウインドウガラスをモール部まで下げることにより換気効果が向上します。
・エアコンを外気導入にすると、いっそう効果を得られます。

イラストはRH側を表しています。

株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

脱脂作業要領書

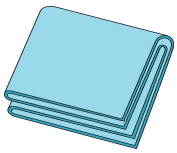
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

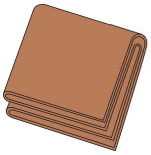
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

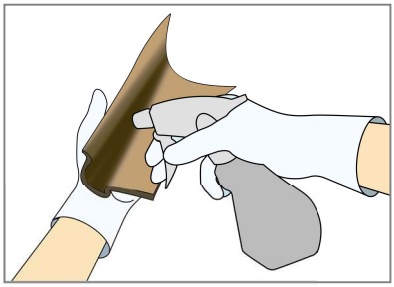

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

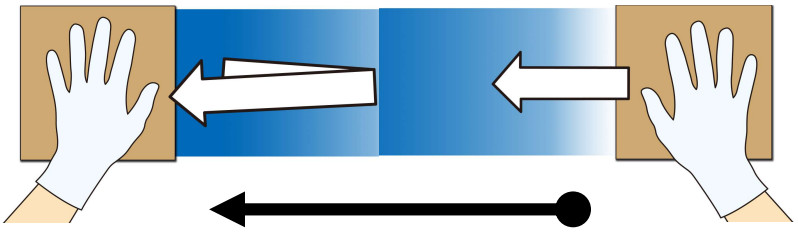


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

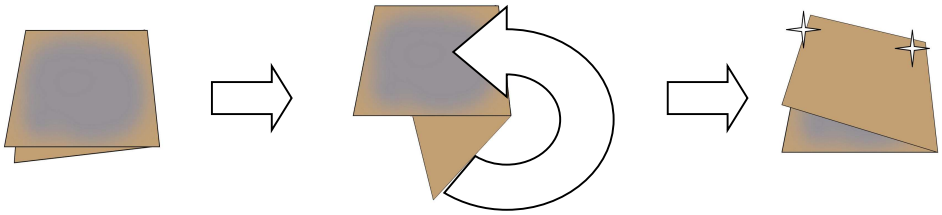
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。